

KPO北京レポート

KPO北京事務所 崔 万哲

Tel: +86-10-8454-9400 Fax: +86-10-6282-7371

E-mail: cuiwanzhe2001@126.com / cuiwanzhe2001@hotmail.com

1. トピックス

■上半期の消費カトップ10都市

北京と上海という2大国際都市は、中国の消費アップグレードをけん引している。その消費市場は現在、生存型から発展型・共有型に変わろうとしている。経済シンクタンク・21世紀経済研究院が明らかにした。

上半期の経済データを見ると、消費の経済成長への寄与が際立ち、その寄与度は63.4%に達している。特に、インターネットの発展、消費アップグレードの多様化が、多くの新しいビジネスモデルとチャンスを生み出している。

上半期の社会消費財小売総額トップ10都市は、上海、北京、広州、重慶、成都、武漢、天津、深セン、南京、杭州の順となった。

2. フライトスケジュール

■北京発 - 関空着 (週)

就航期間	便名	日本着曜日	現地発時間	日本着時間	経由	備考	フライト時間
171201-171231	CA927	月火水木金土日	0840	1240		NH5722(S)	3:00
171201-171231	MU525	月火水木金土日	1010	1400		JL5676(S)	2:50
171201-171231	MU277	月 水 土	0915	1530	YNT	JL5656(S) YNT-KIX間のみ	5:15
171201-171231	ZH9055	月火水木金土日	1335	1720		NH6604(S)CA3355(S)	2:45
171201-171231	NH980	月火水木金土日	1430	1820		CA6655(S)ZH3215(S)	2:50
171201-171231	CA161	月火水木金土日	1605	2010		NH5724(S)	3:05

出所：関西国際空港

3. 現地の観光情報

■10月の外貨準備高 3兆1092億ドル

中国人民銀行が11月7日に発表した最新の外貨準備高データによると、2017年10月末時点の外貨準備高は3兆1092億ドルで、9月末より7億ドル増えた。統計によると、中国の外貨準備高はすでに9ヶ月連続で増加した。(人民日報網)

■中国人旅行者はアセアン・インバウンドの主力

今年のアセアン設立50周年の節目の年であり、また中国-アセアン旅行年でもある。旅行協力は中国とアセアン双方の優先的な方向となっており、お互いに重要な客源地と旅行目的地となっている。

昨年、相互の旅行者数はのべ3800万人に上り、毎週2700便の航空便が中国とアセアンを結んだ。(中国国家旅遊局網)

■[中国大学生訪日団]第四陣が訪日へ

11月19日から26日にかけて[中国大学生訪日団]第四陣一行135人が東京、宮城、神奈川などを訪れた。今回の訪問目的はスポーツ交流で団員はバレーボールチームとソフトボールチームの二組に分かれ、拓殖大学、宮城大学、神奈川大学などの日本人大学生らと交流した。代表団のメンバーは北京交通大学、中央民族大学、北方工業大学などの大学生で構成され、日中友好会館の招きで訪日。(中日友好協会網)

4. クローズアップ

■[インターネット・ショッピング]

中国では11月11日を「ダブル11」と呼び、インターネットショッピングフェスティバルとして親しまれている。

「ダブル11」が9年目を迎えた2017年は、国際消費が際立ち、その取引金額が兆元規模にも達した。統計データによると、利用者の殆どは80年代と90年代生まれで、月収が5000元から15000元ほどの若者が中心。225の国と地域から購入した商品は、フランスや日本の化粧品から、チリの果物、カナダの海産物、タイのお米、オーストラリアの葡萄酒まで、さまざまなアイテムを網羅したようだ。

ネット通販大手・アリババがまとめたデータによると、09年の初の「ダブル11」では一日の取引額は5200万円にとどまったが、その後数年間に取引額は幾何級数的に増加し、今年はなんと1682億元に達した。

「中国のネットユーザー数は世界の5分の1に」、「インターネット普及率が世界平均を4.6ポイント上回る」、「携帯電話によるネット利用者数は7億2400万人」—中国インターネット情報センター（CNNIC）が、第40回「中国インターネット発展状況統計報告書」で明らかにした。

モバイルネットワークの主導的な地位が強化

同センターの郝麗陽アナリストは、「インターネットはオンライン行政・国民生活、シェアサービス、モバイル決済などの分野で急成長しており、国民生活の改善、社会の福祉促進において大きな役割を發揮している」と指摘する。

モバイルネットワークの急発展に伴い、携帯電話はネットユーザーのネット接続に不可欠なデバイスになっている。過去半年間に渡り、中国の携帯電話によるネット利用者数は2830万人増加し、ネットユーザーのうち携帯電話でネット接続する人の割合が96.3%に達した。

個人の応用シーンが多彩に

「ワンタッチで注文し、外に出なくても美味しい料理を楽しむことができ、QRコードをスキャンすれば、さまざまなカラーのシェア自転車にいつでも乗ることができる」。この半年に渡り、各種携帯アプリの利用者数が増加を続け、利用シーンもこのように多彩になった。

同報告書によると、モバイル決済利用者5億200万人のうち、4億6300万人が実店舗での消費もモバイル決済を利用している。

「以前は単純にニュースをチェックして情報を検索していたが、今やネットショッピング、外出、料金支払いなどの公共サービスへと、ユーザーのインターネットへの依存度が増している。各種公共サービスはインターネットの使用を促しているが、これは今後数年に渡りネットユーザー数の増加を促進する重要な要素になる」と、同センターの劉主任は話す。

「ダブル11」商戦はますます激化し、京東や蘇寧易購などの有名な通販企業が次々と競争に加わり、Eコマースの触角は国民生活の隅々まで浸透しつつある。

そして、消費者の財布のひもは「全国から買う」から「世界から買う」へと緩められている。

(以上)